連載コラム

国際交流員の活動日誌 vol.15

国際交流員のシャネン。市民が身近に英語に触れることができる環境づくりを目指し、日々取り組んでいる内容や、アメリカの文化についてお伝えします。

雨降り、土砂降り

It's Raining, It's Pouring

日本の梅雨は6月ですね。日本では雨がたくさん降っているとき、雨が止むのをお願いするために、てるてる坊主を作ると聞きました。アメリカでは、そんなに有名な雨を止めるためのおまじないや儀式はありません。私たちのほとんどは雨が降ることを望みます。

例えば、アメリカ先住民の部族には、レインダンスという雨乞いの儀式があります。また、ニューメキシコ州のプエブロ部族は、雨だけでなく風も表現するためにトルコ石を着用して、雨が降るのを願って、長い時間、輪になって踊ります。

1890年代に長い干ばつがあり、アメリカ議会が空を爆発させて雨を降らせようとしました。戦闘の騒音は雨が降る原因になると考えられていたのですが、結果はもちろん失敗でした。

アメリカは雨を降らせるより、予測することに力を入れています。多くのアメリカ人は「雨が降る前に牛が座る」と信じています。他にも、嵐がくる前に関節が痛むという人もいます。それでも、雨が降ると、とにかく外に出る人が多いです。皆さんはもう知っているかも知りませんが、日本は一番傘がある国ですよ！

アメリカや他の国では、それほど雨が降らないため、濡れてもあまり気にしません。アメリカンフットボールは雨や雪が降ってもゲームを続けます！映画の登場人物が雨の中にいるのは、悲しい時だけではありません。人々が雨の中で笑ったり踊ったりする場面が多くある有名な映画があります。「Singing in the Rain（雨に唄えば）」は、ジーン・ケリーが主演するとても有名な古い映画です。今度雨が降ったら、外に出てこの曲を歌ってみませんか？

★Let's speak English !!

今回のひとこと英会話は雨について話しましょう！

アメリカで有名なフォークソングです

Rain, rain, go away !

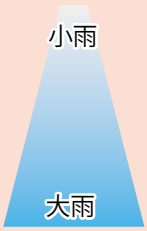
雨、雨、どこかに行って！

Come again another day !

また今度来て！

雨の量で言い方が変わります

It's spitting.
It's drizzling.
It's raining.
It's pouring !



★Revere Information

姉妹都市リヴィア市の情報をお届けします

Revere Beach Kite Festival（リヴィアビーチ凧祭り）

6月のリヴィア市は完璧な凧揚げ日和です！

日本の子ども達は冬に凧を揚げるでしょう？アメリカでは、年間を通して、特に夏に凧を揚げます。海でボードに乗りながら、凧を揚げるスポーツもあります！5月になると凧揚げしたくなるほど暖かくなるので、リヴィア市では毎年、凧祭りを開催します。ビーチでは、300人の子ども達が白い凧に絵を描いて自分の凧を作ったり、多くの人々が自分の凧を揚げます。

「霊山登山ツアー」と「おもてなし英語講座」の参加者を募集中です。詳しくは市政だより5月号をご覧ください。